

サマー・ミュージック・セミナー2025

～講師プロフィール～

フルート講座 ～音色のつくり方、使い方～ 素敵な音色で楽しく表情豊かに演奏しましょう！

大友 太郎（おおとも たろう）



国立音楽大学附属高等学校3年在学中に東京文化会館新進音楽家オーディションに最年少で合格。同学1年途中で渡独、パウル・マイゼン氏に師事。西ドイツ・デトモルト音楽院、ミュンヘン国立音楽大学マイスタークラスで学ぶ。在独中バッハ研究の権威 H.ヴィンシャーマン氏率いるドイツバッハゾリストの一員として活躍。1981年プラハの春国際コンクールファイナリスト名誉賞及びチェコ現代作品最優秀演奏者賞受賞。1982年東独マルクノイキルヒェン国際音楽コンクールフルート部門邦人初の第1位受賞。

現在、本学で教鞭をとる傍ら、各地で後進の指導にあたり、数多くの個性ある優秀な人材を世に送り出している。また、びわ湖国際フルートコンクール審査委員長、日本フルートコンヴェンションコンクール、アジアフルートコンクール、三田ユネスココンクール、全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクール、仙台フルートコンクール他、数多くの審査委員を歴任。一般社団法人日本フルート協会理事、心に響くあたたかい音色とダイナミックな音楽性により「フルートの詩人」と称されている。本学招聘教授、同附属中学校・高等学校校長。

弦楽アンサンブル講座

永峰 高志（ながみね たかし）



東京藝術大学卒業。NHK 交響楽団首席奏者として活躍する。在団中功績が認められ有馬賞を授与される。同団退団後 N 響メンバーによるアンサンブルとの共演等、ソリストとして活躍している。また、新日本フィル、仙台フィルなどのオーケストラにゲストコンサートマスターとして招かれ、好評を得ている。指揮者としても、シュトゥットガルト室内管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、仙台フィル、N 響団友オーケストラ、アンサンブル神戸を指揮し、その演奏は非常に高い評価を得ている。指導者としても、門下からはミュンヘンフィル、N 響、読響、都響をはじめ国内外のオーケストラのオーディションに数多くの合格者を輩出している。現在、本学特任・招聘教授。

合唱講座（メサイアを楽しむ）

辻 秀幸（つじ ひでゆき）



東京藝術大学声楽科及び同大学院独唱科前期修士課程修了。イタリアミラノを中心に欧州音楽遊学、各地でコンサートに出演し高評を博す。その後国内外で伊・独・日本歌曲を中心にユニークなリサイタル活動を展開。

オペラではその歌唱と演技で度々新聞各紙で絶賛された。

宗教曲演奏のスペシャリストとしてもソリスト、指揮者としてその活動は常に注目を集めている。アマチュア合唱団の育成にも力を注ぎ、現在 16 団体の指導に関わっている。日本全国で合唱講習会・合唱祭での講師、コンクール審査員を務める。

コーラス関係のテレビ、ラジオ番組での出演も多く身体と共に活動の場は常に広がり続けている。

東京都合唱連盟理事長。日本合唱指揮者協会会員。東京藝術大学・洗足学園音

合唱講座（パワーコーラス）

木島 タロー（きじま たろー）



本学音楽教育学科リトミック専修卒業。フジテレビ「オールスター合唱バトル」シリーズ総編曲／総指導。NHK みんなのうた「校長センセ宇宙人説」作詞作曲／歌唱。TBS 系「バナナマンのせっかくグルメ」「いくらかわかる金」などの主題歌歌唱。ももいろクローバーZ アリーナコンサートでの合唱統括。米ジョン・レノン・ソングライティング・コンテスト(ニューヨーク)入賞。合唱団 Dreamers Union Choir (DUC) を主宰。

国立音大の伝説的な「行脚合唱団」の流れを汲んだ燃えるような合唱で知られる私立自由の森学園の出身で、本学卒業後は 20 年以上に渡って米軍と契約し、いわゆる黒人教会での演奏と指導に携わる。その経緯などから、合唱を「人間の生活に必須の活動」ととらえ、日々そばにある「生活音楽」として普及することをライフワークとしている。

著書「歌って生き抜け命のコーラス」「6 色発声トレーニング」。

一般社団法人パワーコーラス協会代表理事。国連英検 A 級。

オリジナルに基づくイタリア古典歌曲講座



彌勒 忠史（みろく ただし）

千葉大学大学院修了。東京藝術大学卒業。佐渡裕指揮『夏の夜の夢』、A.バッティストーニ指揮「カルミナ・ブラーナ」、市川海老蔵特別公演『源氏物語』等の舞台や「関ジャム完全燃SHOW」等のTV番組に出演するなど幅広く活躍。また日本音楽コンクール、東京音楽コンクール等の審査員も務める。著作やCDなど多数。平成24年度芸術選奨文部科学大臣新人賞をカウンターテナーとして史上初の受賞。本学客員教授。

武部聡志ポップスアレンジ講座 ～プロのミュージシャンを迎えて～



武部 聡志（たけべ さとし）

1957年2月12日生まれ。音楽プロデューサー、作・編曲家。

本学在学時より、キーボーディスト、アレンジャーとして数多くのアーティストを手掛ける。

1983年より松任谷由実コンサートツアーの音楽監督、2013年～2016年「ももいろクローバーZ」のLIVE音楽監督を担当。

一青窈、今井美樹、ゆず、平井堅、JUJU等のプロデュース、CX系ドラマ「BEACH BOYS」「西遊記」etcの音楽担当、CX系「MUSIC FAIR」「FNS歌謡祭」の音楽監督、スタジオジブリ作品「コクリコ坂から」「アーヤと魔女」の音楽担当、最近では、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の音楽担当、「Yuzuru Hanyu ICE STORY 2023 “GIFT”」の音楽監督等、多岐にわたり活躍している。

音楽美学講座 ～音楽とグルメ～



瀬尾 文子（せお ふみこ）

東京大学大学院人文社会系研究科、美学藝術学専攻分野にて博士号取得。博士（文学）。専門は音楽美学および18、19世紀のドイツ語圏キリスト教音楽。著書に『近代市民社会の信仰と音楽：オラトリオは「聖」か「俗」か』（春風社、2023年）。合唱歴とオルガン歴も長い。立川市民交流大学「クラシック音楽入門講座」や「たのしいクラシックの会」の講師も務める。現在、本学准教授、東京大学教養学部（ドイツ語）講師。

ミュージカル講座 ～ショービジネスの表と裏／「お芝居」と「現実」のリアル～

中西 聡（なかにし そう）



エンターテインメントプロデューサー/茶道家(平安朝茶道「淹茶道」二代目宗師宗家家元) 早稲田大学卒業。英国 St,Andrews 大学留学。大学卒業後、東宝ミュージックに所属。「レ・ミゼラブル」「エリザベート」など多くの東宝作品の公演に関わる。2005 年ジェー・ピー移籍。今井清隆、鈴木壮麻、井料瑠美、大鳥れいをはじめ数多くの舞台系アーティストのプロデュース、アニメ原作ミュージカル『蒼穹のファフナー』（博品館劇場）、「デイス・ワンダーランド」（青山円形劇場）、音楽劇『ベートーベン先生の曖昧日記』（新橋演舞場別館）などを手掛ける。エンターテインメントプロデューサーとして活躍する傍ら、茶人としても海外に招聘され、平安時代の茶・薫物を伝承する「淹茶道」の家元として活動中。2023 年度くにおんミュージカル公演以降、プロデューサーを担当。現在、本学准教授。

クラシックピアノ講座

久元 祐子（ひさもと ゆうこ）



東京藝術大学を経て同大学院修士課程修了。ウィーン放送響、ハイドン・フィル、ラトビア国立響、読響、新日フィル、ウィーン・サロン・オーケストラなど内外のオーケストラと多数共演。2011 年ウィーンでのリサイタルが高い評価を受け、バーゼンドルファー・アーティストの称号を授与される。イタリア国際モーツァルト音楽祭にたびたび招かれリサイタルを開催。ブロードウッド、プレイエル、エラーなど 19 世紀オリジナル楽器を愛用し、それら歴史的楽器を用いての演奏・研究にも取り組む。

国立音楽大学創立 90 周年記念事業 楽器学資料館ピアノプロジェクトとして開催されたレクチャーコンサートで歴史的楽器 5 台を使用したコンサートに出演。2016~22 年、モーツァルト・ピアノ・ソナタ全曲演奏会シリーズを開催。

これまで「優雅なるモーツァルト」（毎日新聞 特薦盤、レコード芸術特選盤）など CD18 作をリリース。「ベートーヴェン：“テレゼ” “ワルトシュタイン”」は、グラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など高い評価を得る。園田高弘賞、毎日 21 世紀賞などを受賞。

著書に『作曲家が愛したピアノからアプローチする演奏法~ベートーヴェン~』『モーツァルトのピアノ音楽研究』（音楽之友社）など。本学特任教授。

<http://www.yuko-hisamoto.jp/>

ピアノデュオ講座 ～デュオ初心者からプロフェッショナルまで、 公開レッスンの形式で様々な難易度の作品に対応します～

瀬尾 久仁（せお くに） 加藤 真一郎（かとう しんいちろう）



©Marco Borggreve

桐朋学園大学ピアノ科に学ぶ瀬尾久仁と、作曲科に学ぶ加藤真一郎が在学中の1998年にピアノデュオを結成。ロストック音楽大学、ミュンヘン音楽大学マイスター課程ピアノデュオ科を修了。ピアノデュオとして初めて文化庁在外研修員に選ばれ、A・コンタルスキー教授のもとで研鑽を積む。2005年、最難関とされるマレイ・ドラノフ国際2台ピアノコンクールで日本人デュオ初の第1位、国際ピアノデュオコンクール（ポーランド）第1位及びショパン賞など、日本・海外の主要コンクールで数々の受賞。以来、国内外での演奏会の他、協奏曲を都響、東京フィル、京響等と共演、北ドイツ放送、バイエルン放送、NHK「ベストオブクラシック」「クラシック倶楽部」「ららら♪クラシック」等に放送出演。レコード芸術特選盤に選出されたCD「2 pianos」（FONTEC）、監修・作曲を行った楽譜「やさしい2台ピアノ曲集」（音楽之友社）が現在発売中。教育活動にも携わり多数の門下生が国内外のコンクールで入賞を果たしている。加藤は本学講師及び桐朋学園大学准教授。
www.seokato.com

ジャズピアノ講座Ⅰ・Ⅱ

椎名 豊（しいな ゆたか）



本学作曲学科卒業。1991年、ロイ・ハーグローブ(tp)と日米混合ユニット「ザ・ジャズ・ネットワークス」を結成。1996年“エルヴィン・ジョーンズ(ds)ジャズ・マシーン”に参加。2003年よりチョン・ミョンフン、ヒュー・ウルフ、エリック・カンゼルの指揮のもと、東京フィルハーモニー交響楽団と共演、定期演奏会に出演。ガーシュインのピアノ・コンチェルト他を発表。これまでに多くのリーダー・アルバムを発表、最優秀新人賞他、数々の賞を受賞。アメリカ、ヨーロッパのツアーも毎年、大成功をおさめている。縦横無尽にスイングする椎名のピアノタッチは唯一無二の個性とイマジネーションにあふれ、世界中の音楽ファンを驚嘆させている。

コレペティトアレッシン(管楽器奏者のための)& ピアノ伴奏法

小田井 郁子 (おだい いくこ)



兵庫県伊丹市出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。その後渡独し、シュトゥットガルト音楽大学にてソロ、ピアノデュオ、リート伴奏法を学び大学院を卒業。1992年より現在までベルリン音楽大学にて管楽器科伴奏助手(コレペティトア)として教鞭を取る傍ら、ミュンヘン ARD コンクール、マルクノイキルヒェン国際コンクール、アエオルス国際コンクールなどでの公式伴奏や、室内楽パートナーとしてヨーロッパ、アジア各地で活動している。

内田玲子、小島準子、岩崎淑、コンラート・リヒター、ハンス・ペーター・シュテンツルの各氏に師事。ピアノデュオとしてカルタニセッタ(イタリア)国際室内楽コンクール第一位、フィナーレ・リグレ(イタリア)国際ピアノデュオコンクール一位なしの二位、イエセニク(チェコ)国際シューベルトコンクールにてシューベルト賞、コレペティトアとしてポーランド・クルピンスキー国際クラリネットコンクール最優秀伴奏者賞マルクノイキルヒェン(ドイツ)国際コンクール最優秀伴奏者賞を受賞。

Adrian Diaz Martinez (ハンブルク音楽大学ホルン教授)とのデュオで、2018年にCD „avantgarde“, 2022年にCD „Mahu Scriptum“ をリリース。

音楽基礎理論講座 ～楽典・和声・対位法とコラール～

〈Ⅰ 楽典〉



岩河 智子 (いわかわ ともこ)

本学作曲科首席卒業、同大学院音楽理論科修了。東京と札幌で、社会人のための音楽理論勉強会主宰。特に札幌室内歌劇場の音楽監督として30年以上に渡り音楽理論に立脚したオペラ作りを展開。作曲家としては、オペラ「青い鳥」「小人の靴屋」合唱組曲「かなしいおとなのうた」「おとなのための童謡曲集」など多数の作品がある。本学・同大学院元講師、札幌室内歌劇場音楽監督。

次ページへ続く

〈Ⅱ和声〉



森垣 桂一（もりがき けいいち）

東京藝術大学作曲科卒業。1975 年よりパリ国立高等音楽院で音楽理論と作曲を学ぶ。第 42 回日本音楽コンクール作曲部門第 1 位受賞。第 27 回ヴィオッティ国際音楽コンクール作曲部門入賞。平成 11 年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。本学大学院教授、東京学芸大学特任教授、東京藝術大学作曲科、桐朋学園大学音楽学部等の講師を歴任。音楽之友社より解説と楽曲分析を担当したミニチュア・スコアが多数出版されている。現在、日本現代音楽協会理事、東京音楽大学作曲科講師。

〈Ⅲ対位法とコラルル〉



市川 景之（いちかわ かげゆき）

東京藝術大学作曲科卒。1993 年よりパリ国立高等音楽院に学び、高等和声、対位法、フーガ、管弦楽法の各科をプルミエ・プリで修了。エコールノルマル音楽院室内楽科(歌曲ピアノ)修了。M.ビッチュ氏のアシスタントもつとめる。本学客員教授。東京藝術大学、桐朋学園大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。

日本作曲家協議会、日本ソルフェージュ研究協議会会員。二期会フランス歌曲研究会ピアノ会員・運営委員。作品にはフランス語の声楽曲が多い。著書に「メソード・ソルフェージュ」(共著)、「歌って・書いて・弾いて学ぶ和音唱」(ともに音楽之友社)がある。

総合ソルフェージュ講座



今村 央子（いまむら ひさこ）

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院ソルフェージュ科修了。パリ国立高等音楽院エクリチュール科、ピアノ伴奏科卒業。帰国後は作曲家・ピアニストとして活動を展開。近年の作品には《Hop Step Jump!》(Perc.Quartet, 2018)、《〈さくらさくら〉幻想曲》(Pf. Quintet, 2024)、《吹奏楽のための二つのうた》(吹奏楽, 2024) 等がある。また視唱課題集《やさしいソルフェージュ》(Hustle Copy, 2023 共著)、連載『「第九」で学ぶ! 楽典・ソルフェージュ』(ONTOMOWeb, 2024〜)をはじめとした教材開発、スコアの解説や楽曲分析などの執筆、講演、出張授業等も精力的に行なっている。現在国立音楽大学教授(演奏・創作学科長)、東京藝術大学非常勤講師、日本ソルフェージュ研究協議会副会長、日本作曲家協議会理事。

作品分析講座



森垣 桂一（もりがき けいいち）

音楽基礎理論講座〈II 和声〉（7 ページ）をご参照ください。

指揮法講座



山本 訓久（やまもと のりひさ）

国立音楽大学卒業、東京藝術大学大学院音楽研究科修了。ウィーン音楽大学指揮科に学ぶ。指揮を U.ライオヴィッツ、山岡重信、高階正光、和声を新実徳英の各氏に学ぶ。国立音楽大学にて指揮法、吹奏楽の授業を担当した（非常勤講師として 25 年間勤務）。東京学芸大学名誉教授。日本管楽芸術学会会長。

書籍：『学ぼう指揮法 Step by Step』『ブルクミュラーで指揮法入門』（アルテスパブリッシング）

CD：“A Flourish of Brass”「ブラスの花束」（Musica Residiva, Sweden：MRSDCS-019）山本訓久編曲/指揮 アンサンブル・ペガサス トウキョウ

「ホルスト：組曲第 1 番（原典版）ほか」（Cryston OVCC-00083）山本訓久指揮 東京ウィンド・シンフォニカ

音楽科教育講座



阿部 みどり（あべ みどり）

杉並区立杉森中学校主任教諭、東京都中学校音楽教育研究会授業研究部副部長、全日本音楽教育研究会中学校部会常任理事、都研修センター専門性向上研修模範授業、実践発表多数。

国立音楽大学教育音楽科Ⅰ類卒業。東京学芸大学教職大学院卒業。都中音研創立 60 周年記念大会授業者（府中の森）長唄「勸進帳」、全日音研 50 周年記念全国大会東京大会授業者（府中の森）「江戸の鳶木遣」、ユネスコ・アジア文化センター ACCU 韓国政府日本教職員招へいプログラム授業者。

岩井 智宏（いわい ともひろ）



武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。「音楽を通した人間教育」をテーマに研鑽を積む。国内外で様々な音楽教育を学び音楽の可能性を研究している。平成30年度には文部科学省・国立教育政策研究所より依頼を受け実践研究協力校授業者として教科調査官来校のもと授業を提案した。令和元年度、日本音楽教育学会第50回東京大会にて常任理事会企画プロジェクト研究で世界的民族音楽研究者であるPatricia Sheehan Campbellの推奨する教材と民族音楽指導法「五つのペタゴジー（World Music Pedagogy）」を用いて公開授業を行う。現在、桐蔭学園小学校主幹教諭、玉川大学非常勤講師。小学校音楽教科書（教育芸術社）「小学生の音楽」著者。

臼井 学（うすい まなぶ）



長野県公立中学校教諭、信州大学教育学部附属長野中学校教諭、長野県教育委員会指導主事等を経て

平成26年度より 国立教育政策研究所 教育課程調査官

（併）文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

文化庁 参事官（芸術文化担当）付 教科調査官（平成30年度より）

令和2年度 信州大学教育学部附属長野中学校 副校長

令和3年度 長野県教育委員会事務局 学びの改革支援課 教育主幹兼義務教育指導係長

令和5年度 長野県教育委員会事務局 学びの改革支援課 参事兼課長

令和7年度 長野県安曇野市立豊科南中学校長

勝山 幸子（かつやま さちこ）



港区立高松中学校主任教諭。2019年より、評価規準、評価方法等の工夫改善に関する調査研究協力者（国立教育政策研究所）、2017年より、学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者（文部科学省）を務める。音楽鑑賞振興財団研究協力者。授業研究会や音楽指導者研修会の講師等を務める。港区教員マイスター。

小梨 貴弘（こなし たかひろ）



戸田市立戸田第一小学校教諭、東邦音楽大学非常勤講師。現在まで埼玉県国公立小学校8校で学級担任、音楽専科教員として勤務。

主な著書に『こなっしーの低学年だからできる！楽しい音楽！』『音楽科教育とICT』（音楽之友社）『こなっしーの音楽授業をステキにする100のアイデア』『こなっしーの音楽授業アクション50』（明治図書）がある。

平成29年度埼玉県優秀教員表彰、平成30年度文部科学大臣優秀教職員表彰。音楽教育情報サイト『明日の音楽室』主宰。

佐藤 太一（さとう たいち）



埼玉大学教育学部音楽専攻卒業。埼玉県立養護学校、公立中学校教諭、埼玉大学教育学部附属中学校音楽科教諭、同校副校長、埼玉県立総合教育センター主任指導主事を経て、令和4年度より、埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課主任指導主事を務める。

文部科学省・国立教育政策研究所研究協力委員などを歴任。全国各地で、授業研究会や音楽指導者研修会の講師等を務める。

平野 次郎（ひらの じろう）



筑波大学附属小学校 教諭（音楽科） 筑波大学非常勤講師。尚美学園大学（ジャズ＆ポップス専攻）を卒業後、千葉県の公立中学校、小学校勤務を経て現職。

「みんなでわかっていく音楽科の授業づくり」をテーマに掲げ、子どもの多様な気付きや自分なりの考えを引き出したり、表現に生かしたりするための教師の役割や言葉のかけ方などに視点をあて、授業実践を積み重ねている。

教育出版の小学校音楽教科書「音楽のおくりもの」著者。「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（小学校音楽） 調査研究協力者。文化芸術教育の充実・改善に向けた検討会議委員（文化庁）。

幼児音楽教育講座



新谷 祥子（あらや しょうこ）

本学卒業後、ミシガン大学打楽器修士課程修了。近年はマリンバで弾き歌うシンガーソングライターとしてアルバム制作多数。打楽器奏者として現代音楽から邦楽、ロック、ポップス、民族音楽、舞踊などと多くの共演を重ねている。北村想戯曲による朗読劇や寺山修司音楽祭で作曲演奏。2019年、初の翻訳絵本（「たてる」「こわす」福音館書店）を手がける。文化庁による芸術家の派遣事業として打楽器ワークショップを継続。高校音楽教科書にボディーパーカッション曲執筆。本学と東京家政大学児童学科で非常勤講師。2017年青森県文化賞受賞、2022年青森県褒賞受賞。



飯村 敦子（いいむら あつこ）

国際ムーブメント学術研究センター所長。NPO 法人日本ムーブメント教育・療法協会理事、常任専門指導員。本学卒業。東京学芸大学大学院連合大学学校教育学研究科修了、博士（教育学）。専門は、特別支援教育、ムーブメント教育・療法（音楽ムーブメント）、発達教育学。家族参加型の障がい児支援や乳幼児の子育て支援、保育・教育・療育の場でムーブメント教育・療法による実践に取り組み、保育者や教員研修、指導者養成に携わっている。共著に『発達障がい児の育成・支援とムーブメント教育』（大修館書店）、『運動・遊び・学びを育てる ムーブメント教育プログラム 100』（大修館書店）などがある。



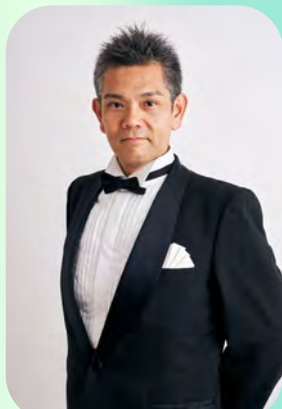
伊藤 仁美（いとう さとみ）

国立音楽大学音楽文化教育学科准教授、幼児音楽教育専攻代表。博士（音楽）。横浜市出身。国立音楽大学卒業、同大学院音楽教育学専攻修了。保育者養成校、幼稚園リトミック講師等を経て2018年より現職。保育者のための音楽表現講座を数多く行っている。共著に『1～5歳児がよろこぶ保育ではじめてリトミック』、監修に『豊かな音楽表現を育てる幼児のリトミック』（DVD 全3巻）等がある。



岡崎 香奈（おかざき かな）

国立音楽大学音楽療法専修教授。芸術学博士（ニューヨーク大学）。英国王立音楽院ピアノ科卒業。ロンドンノードフ・ロビンズ音楽療法センター養成課程修了、ニューヨーク大学大学院音楽療法学科修士・博士課程修了。英国／米国公認音楽療法士。日本音楽療法学会認定音楽療法士。世界音楽療法連盟理事・養成教育資格認定委員長。Nordic Journal of Music Therapy アドバイザリー編集委員。日本ノードフ・ロビンズ音楽療法トレーニングプログラム（東京・吉祥寺）トレーニングディレクター。



葛西 健治 (かさい けんじ)

青森県出身。国立音楽大学声楽学科卒業、同大学院修士課程修了。同音楽研究所ベートーヴェン研究部門研究員を経て、博士後期課程を単位取得退学。博士後期課程在学中、交換留学生としてウィーン国立音楽演劇大学に留学。声楽を佐藤峰子、久岡昇、福井敬、Walter Moore、Claudia Visca、音楽学を礒山雅の各氏に師事。オペラ、宗教曲等のソリスト出演の他、親子のためのアウトリーチ・コンサートに意欲的に取り組む。現在、こども教育宝仙大学准教授。本学、青山学院大学、東京教育専門学校非常勤講師。



栗村 葉子 (くりむら ようこ)

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、聖徳大学大学院児童学研究科修了。現在、東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科、フェリシアこども短期大学非常勤講師、リズムの森ピアノ指導主任。幼児から保育者、大人へピアノ及びリトミック指導にあたっている。ダルクローズサーティフィケート取得。



堀江 志磨 (ほりえ しま)

国立音楽大学を経て同大学院修了。ドイツ国立ケルン音楽大学ピアノ科卒業。帰国後、東京文化会館にて、定期的に隔年でリサイタルを開催し、その演奏は「自由で闊達・洞察性に満ちた素晴らしい表現」「音楽的矜持と主張が明確に感じられる演奏」(ムジカノーヴァ誌)などの評価を得ている。学生の自律的学びを促すための学内共同研究プロジェクト参加。クロイツァー記念会常任理事、日本ピアノ教育連盟会員。現在、国立音楽大学教授。



八幡 眞由美 (やはた まゆみ)

京都女子大学大学院家政学研究科児童学専攻修了(修士(児童学))。筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻修了(博士(ヒューマン・ケア科学))。専門は児童文化、子育てバリアフリー。現在、本学教授。



山根 直人 (やまね なおと)

東京学芸大学教育学部障害児教育教員養成課程卒業。小学校・養護学校・聾学校教諭 1 種免許状取得。東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科修了（博士（教育学））。理化学研究所脳科学総合研究センター言語発達研究チーム研究員、専門職研究員を経て、2023 年より早稲田大学理工学術院総合研究所次席研究員及び理化学研究所脳神経科学研究センター脳発達分子メカニズム研究チーム言語発達研究班客員研究員。

リトミック講座



赤羽 美希 (あかはね みき)

奈良女子大学文学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科(応用音楽学専攻)修了。コミュニティ・ミュージック・プロジェクト「うたの 住む家」他を主宰。保育園や老人ホーム、福祉施設等で、乳幼児から高齢者、障害のある人など多様な人を対象とした音楽ワークショップを多数行う。現在は、実践・研究・教育の幅広い分野で精力的に活動している。著書に『たのしい楽器あそびと合奏の本』『かんたん！わくわく！楽器あそびと合奏の本』（ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス）などがある。本学コミュニティ音楽コース、聖学院大学子ども教育学科、東京音楽大学音楽文化教育専攻非常勤講師。



井上 恵理 (いのうえ えり)

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。ジュネーヴ・ジャック＝ダルクローズ音楽院卒業。（ダルクローズライセンス、ディプロマ取得）その後、同音楽院にて専門コースのリトミック、即興演奏、子どものクラスのリトミック講師、及びジュネーヴ高等音楽院で即興演奏の講師をつとめる。現在、本学教授。日本ジャック＝ダルクローズ協会副会長、全日本リトミック音楽教育研究会本部講師。「リズムの森」総合指導主任他。

©NPO 法人 芸術家と子どもたち



大城 依子（おおき よりこ）

国立音楽大学教育音楽学科リトミック専攻卒業。ピッツバーグ・カーネギーメロン大学よりダルクローズ・サーティフィケート取得。ジュネーヴ・ジャック＝ダルクローズ音楽院へ留学、ダルクローズ・ライセンス取得。ジュネーヴ高等音楽院 修士課程修了。日本ジャック＝ダルクローズ協会会員。日本ダルクローズ音楽教育学会会員。日本ソルフェージュ研究協議会会員。全日本ピアノ指導者協会（PTNA）正会員。國學院大学非常勤講師。音楽教室、団体、国内外各所にてリトミック講師。「ムジカノーヴァ」誌にてピアノ即興演奏やリトミックについて連載。



小橋 成子（こばし しげこ）

聖ヶ丘女子学院（現、聖ヶ丘教育福祉専門学校）卒業。幼稚園教諭普通免許、保育士資格取得。ダルクローズ国際免許サーティフィケート取得。幼児教育現場にてリトミック指導を行う傍ら、有限会社響「リズムの森」を設立し代表取締役社長に就任。障がい児教育にも積極的に取り組んでいる。心理カウンセラー資格保持。日本ジャック＝ダルクローズ協会会員。日本ダルクローズ音楽教育学会会員。



佐川 静香（さがわ しずか）

国立音楽大学音楽教育学科音楽教育専攻卒業。同大学リトミック指導者コース修了。大学卒業後、ジュネーヴ高等音楽院（スイス）に留学し「音楽と動き」専攻学士課程を卒業。同音楽院音楽教育学科エミール・ジャック＝ダルクローズ・リトミック専攻修士課程修了。

Institut Jaques-Dalcroze よりダルクローズ国際ライセンスを取得。日本ジャック＝ダルクローズ協会会員。日本シニアの為のダルクローズ・リトミック研究会会員。ジャック＝ダルクローズ作品研究会メンバー。

佐藤 温子（さとう あつこ）

本学音楽教育科リトミック専修卒業。横浜市立すみれヶ丘小学校、本学附属小学校の教諭を経て、2010年スイス、ジュネーヴ高等音楽院へ留学。2012年ミュージック&ムーブメント科、2014年同大学院リトミック・ジャック・ダルクローズ科、（ダルクローズライセンス取得）2015年同大学院学校教育科卒業。その後、2016年より2年間ベトナム・ホーチミン日本人学校にて音楽専科教諭として勤める。現在、本学及び本学附属小学校、並びに和洋女子大学校非常勤講師。音楽教室リズムの森講師。ダルクローズ・リトミック浜松研究会講師。福岡ダルクローズスタジオ VIVACE 講師。日本ダルクローズ音楽教育学会会員、日本ジャック＝ダルクローズ協会会員理事。

佐藤 邦子（さとう くにこ）

本学音楽学部音楽教育学科卒業。ジュネーヴ・ジャック＝ダルクローズ音楽院修了、ダルクローズライセンス取得。本学大学院音楽学（音楽療法）専攻修了。現在、東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科教授。保育者養成、子どもから音楽指導者、保育者を対象としたリトミック教育を実践している。日本ダルクローズ音楽教育学会常任理事、日本ジャック＝ダルクローズ協会副会長、全日本リトミック音楽教育研究会本部指導講師を務める。

高倉 弘光（たかくら ひろみつ）

北海道教育大学教育学部卒業。ニューヨーク・ダルクローズ音楽学校卒業（ダルクローズ・リトミック指導者国際ライセンス取得）。現在、筑波大学附属小学校副校長。筑波大学、群馬大学、前橋国際大学短期大学部非常勤講師。NHK 教育番組「音楽ブラボー」「名曲アルバム+」「フライデーモーニング・スクール」「ウワサの保護者会」などの制作および出演。文部科学省・国立教育政策研究所研究協力委員などを歴任。教育出版教科書「音楽のおくりもの」著者。著書に「〔共通事項〕が見える 子どもがときめく音楽授業づくり」（東洋館出版）、「こども・からだ・おんがく 高倉先生の授業研究ノート」（音楽之友社）ほか多数。日本ダルクローズ音楽教育学会事務局長。

田中 朋子（たなか ともこ）



国立音楽大学卒業、洗足学園音楽大学大学院を修了し渡欧。ウィーン国立音楽大学器楽・声楽教育学科及び「音楽家のための音楽生理学」コース卒業。現地で音楽学校講師、合唱団ボイストレーナーを務め、2021年同大学院を修了し帰国。

ウィーン国立音楽大学・大学院在学中より同講師ヘディ・ミレック氏にフランクリンメソッド®を師事し、同大学でメソッドの創始者であるエリック・フランクリン氏の特別講座を受講。フランクリン氏をはじめとする世界各国のファカルティメンバーのもとトレーニングを行い、公認エジュケーター及び筋膜トレーナー資格を取得。声楽指導者向けの講座や、歌手、器楽奏者を対象とした「身体と呼吸のレッスン」を定期的を開催する。

中明 佳代（なかあき かよ）



1997年本学音楽教育学科リトミック専攻卒業後、2000年スイス、ジュネーヴ・ジャック＝ダルクローズ音楽院に留学。2002年にリトミック国際ライセンス取得、2007年にディプロマを取得。同時期にジュネーヴ音楽大学の作曲科にも在籍し、2008年作曲ディプロマを取得。2010年日本帰国まで、スイスで子どもから大人までのリトミック並びにピアノを指導。現在、本学講師、音楽教室「リズムの森」、「ジャックと音楽の木」講師。日本ジャック＝ダルクローズ協会理事、日本シニアの為のダルクローズ・リトミック研究会代表、日本ダルクローズ音楽教育学会会員。